

日本・アジア青少年サイエンス交流事業 さくらサイエンスプラン 台湾学生の施設見学

平成29年12月19日に東北多文化アカデミーのさくらサイエンスプランに参加した総勢16名の台湾の学生、教員がスキルスラボの見学をしました。

見学会では、加賀谷豊センター長よりスキルスラボの説明を受けた後に、2グループに分かれて、麻酔科の吾妻俊弘先生から高機能患者シミュレータ“H P S”で全身麻酔のシミュレーションの説明と、加賀谷先生から聴診シミュレータ“イチロー&ラング”で心音・呼吸音の聴診を体験してもらいました。その後、評価型の蘇生マネキン“レサシアンQCPR”で、インジケータを見ながらの正しい胸骨圧迫の方法や、気管支鏡のバーチャルシミュレータ、腹腔鏡下手術手技のトレーニングボックスの体験を通じて、医療手技や用いられる器具の操作の難しさを感じた様子でした。生徒には大変好評だったようで、最後は生徒一人一人が担当したスタッフに日本語で「ありがとうございました」と伝える場面がありました。

